

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第15週の発生動向

トピックス

- 新型コロナウイルス感染症(指定感染症)の報告が7例あった(県内11~17例目)。

全数報告の感染症(15週までに新たに届出のあったもの)

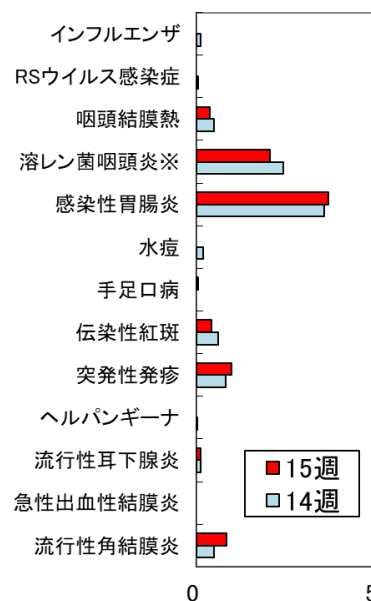
- 1類感染症: 報告なし。2類感染症: 結核3例。
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症1例。4類感染症: 報告なし。
- 5類感染症: アメーバ赤痢1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症1例、百日咳1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	肺結核及び頸部リンパ節結核	嚥下時痛
		都城	80歳代	男	肺結核及び粟状結核	咳、発熱
		都城	80歳代	女	肺結核	咳
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	40歳代	女	無症状病原体保有者	O115(VT1)
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	70歳代	男	腸管アメーバ症	便潜血陽性
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	60歳代	女	-	ショック、腎不全
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	宮崎市	90歳代	女	-	菌血症、胆管炎
	百日咳	中央	5~9歳	男	-	持続する咳、夜間の咳き込み

指定感染症(15週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	年齢群	性別	症状等
新型コロナウイルス感染症	10歳代	男	味覚障害
	10歳代	女	発熱、味覚障害
	10歳代	男	発熱
	30歳代	女	発熱
	40歳代	男	発熱、咳、味覚異常、倦怠感
	50歳代	男	発熱、咳、味覚障害
	50歳代	女	発熱、咳、痰

《前週との比較》



定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は275人(定点当たり8.7)で、前週比95%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は咽頭結膜熱とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び伝染性紅斑であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は72人(2.1)で、前週比85%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.7)の約0.8倍であった。日南(6.0)、宮崎市(3.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は3~6歳が全体の約6割を占めた。

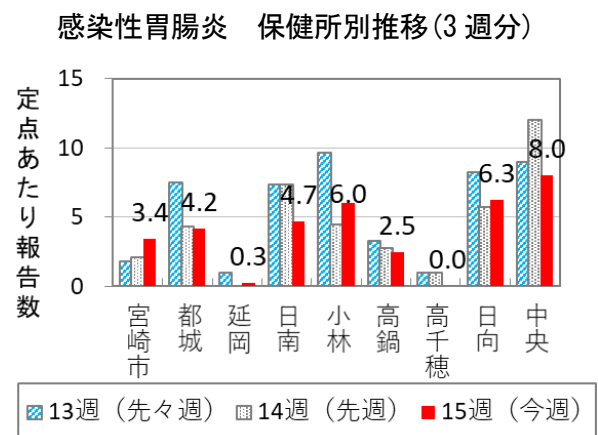
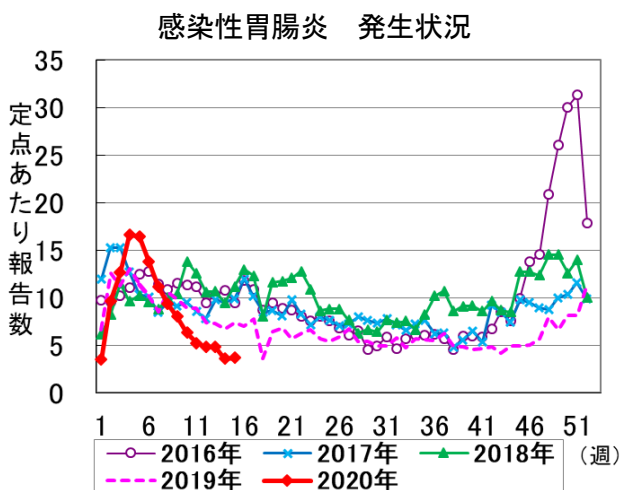
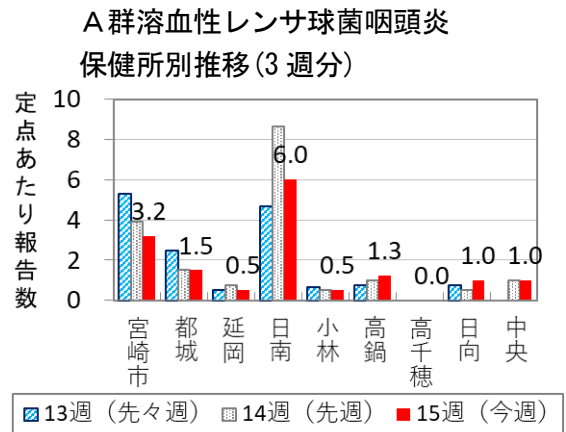
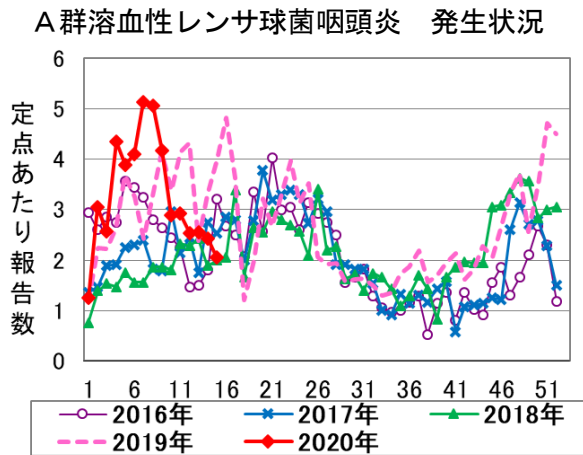
定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【感染性胃腸炎】

報告数は129人(3.7)で、前週比103%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値*(10.0)の約0.4倍であった。中央(8.0)、日向(6.3)、小林(6.0)保健所からの報告が多く、年齢別別は0~4歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★

○細菌性髄膜炎：延岡保健所から1例報告があった。
年齢は0~4歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	伝染性紅斑(2.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値*

・伝染性紅斑(2)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和2年4月13日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EAggEC(O127:H21)	0～4歳	男	2020.2.19	胃腸炎(水様性下痢)	便	2020.3.3
EPEC(OUT:HUT)	40歳代	男	2020.3.11	無症状	便	2020.3.24
Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	20歳代	男	2020.3.19	無症状	便	2020.3.31

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
インフルエンザウイルスB型 (ビクトリア系統)	0～4歳	男	2019.02.05	インフルエンザB型、38.4℃、上気道炎、鼻汁、咳	咽頭ぬぐい液	2020.03.31
SARS-CoV-2	50歳代	男	2020.04.02	新型コロナウイルス感染症疑い、39.4℃、頭痛、味覚障害、嗅覚障害、咳	咽頭ぬぐい液	2020.04.03
SARS-CoV-2	40歳代	男	2020.04.05	急性気管支炎、39.0℃、咽頭炎、気管支炎、下痢、味覚障害	喀痰	2020.04.06
SARS-CoV-2	50歳代	男	2020.04.07	新型コロナウイルス感染症疑い、36.3℃	鼻咽頭ぬぐい液	2020.04.07
SARS-CoV-2	30歳代	女	2020.04.08	新型コロナウイルス感染症疑い、発熱	鼻咽頭ぬぐい液	2020.04.08
SARS-CoV-2	10歳代	男	2020.04.08	新型コロナウイルス感染症疑い、発熱	鼻咽頭ぬぐい液	2020.04.08
SARS-CoV-2	10歳代	女	2020.04.08	新型コロナウイルス感染症疑い	鼻咽頭ぬぐい液	2020.04.08
SARS-CoV-2	10歳代	男	2020.04.08	新型コロナウイルス感染症疑い、発熱	鼻咽頭ぬぐい液	2020.04.08
SARS-CoV-2	50歳代	女	2020.04.10	発熱、上気道炎、気管支炎	喀痰	2020.04.11

🇯🇵 全国 2020 年第 14 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 14 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	253 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	15 例	腸チフス	2 例
	E型肝炎	11 例	A型肝炎	1 例	ジカウイルス感染症	1 例
4類感染症	重症急性呼吸器症候群	1 例	デング熱	2 例	日本紅斑熱	1 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	16 例		
	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	10 例
5類感染症	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	5 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	18 例	水痘（入院例）	3 例	梅毒	35 例
	破傷風	1 例	百日咳	91 例		
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	1,710 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 89%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱、伝染性紅斑であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 4,636 人(1.5)で前週比 92%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.1)の約 0.7 倍であった。石川県(3.9)、鳥取県(3.7)、富山県(3.6)からの報告が多く、年齢群別では 3～6 歳が全体の約 6 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 5,918 人(1.9)で前週比 89%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.5)の約 0.3 倍であった。鹿児島県(3.9)、島根県(3.8)、香川県、福岡県、宮崎県(各 3.6)からの報告が多く、年齢群別では 1～4 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2020年3月>

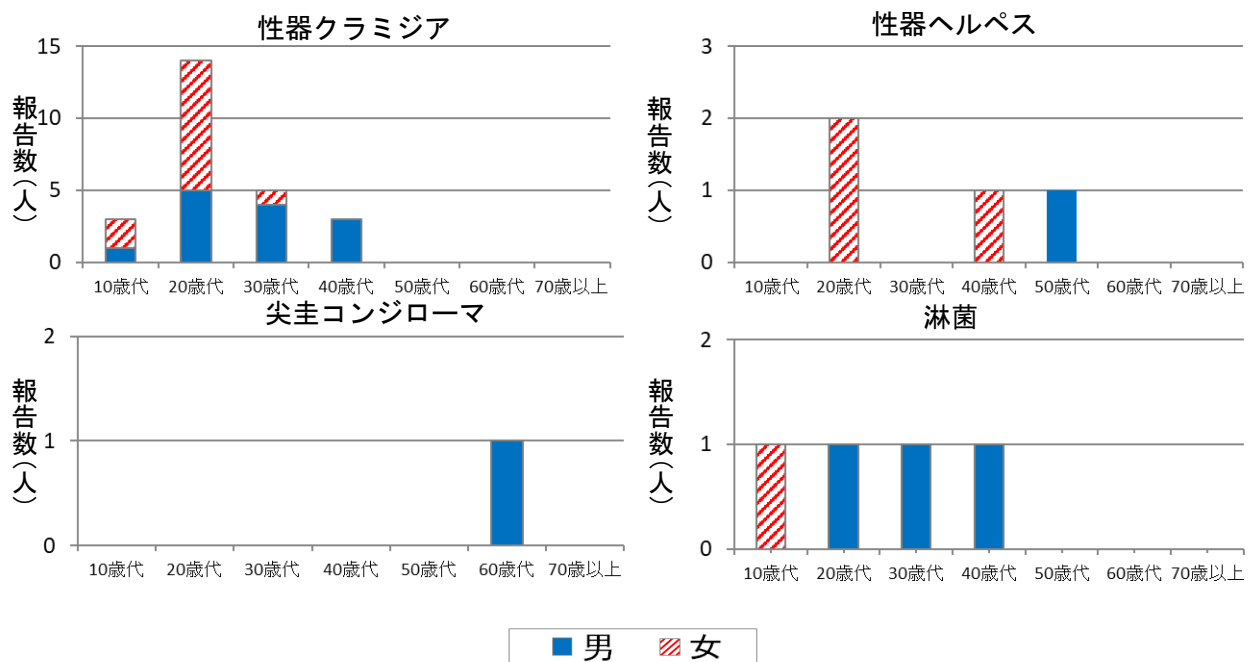
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は34人(2.6)で、前月比113%と増加した。また、昨年3月(2.4)の110%であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数25人(1.9)で、前月の約1.4倍、昨年3月の約1.3倍であった。
20歳代が全体の約6割を占めた。(男性13人・女性12人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人(0.31)で、前月の0.7倍、昨年3月の0.8倍であった。
(男性1人・女性3人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月と同率、昨年3月の0.5倍であった。(男性1人)
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31)で前月の約0.8倍、昨年3月と同率であった。(男性3人、女性1人)



【全国】 定点医療機関総数：982

定点医療機関からの報告総数は4,194人(4.3)で、前月比103%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,378人(2.5)で前月比104%、性器ヘルペスウイルス感染症743人(0.76)で前月比100%、尖圭コンジローマ482人(0.50)で前月比114%、淋菌感染症591人(0.61)で前月比94%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は11人(1.6)で、前月比73%と減少した。また、昨年3月と同率であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数11人(1.6)で、前月の約0.7倍、昨年3月と同率であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：479

定点医療機関からの報告総数は1,343人(2.8)で、前月比98%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,216人(2.6)で前月比96%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症115人(0.24)で前月比114%、薬剤耐性緑膿菌感染症12人(0.03)で前月比150%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2020年 第15週(04月06日～04月12日)

疾病名	第14週	第15週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	7									
	定点当り	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	2									
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	17	13	8	3		1		1		
	定点当り	0.49	0.37	0.80	0.50	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	85	72	32	9	2	18	1	5		4
	定点当り	2.43	2.06	3.20	1.50	0.50	6.00	0.50	1.25	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	125	129	34	25	1	14	12	10		25
	定点当り	3.57	3.69	3.40	4.17	0.25	4.67	6.00	2.50	0.00	6.25
水痘	報告数	7									
	定点当り	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数		2				1		1		
	定点当り	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	21	15	3	5	1		4		1	1
	定点当り	0.60	0.43	0.30	0.83	0.25	0.00	2.00	0.00	0.25	1.00
突発性発しん	報告数	29	34	10	4	8	1	5	3		1
	定点当り	0.83	0.97	1.00	0.67	2.00	0.33	2.50	0.75	0.00	0.25
ヘルパンギーナ	報告数	1									
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	4				1		1		1
	定点当り	0.11	0.11	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.25
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	3	5	4		1					
	定点当り	0.50	0.83	1.33	0.00	1.00					
細菌性髄膜炎	報告数	1	1			1					
	定点当り	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～15週)

2類感染症	結核	36例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3例(1)		
4類感染症	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	1例
	レジオネラ症	3例	つつが虫病	7例
5類感染症	アメーバ赤痢	4例(1)	ウイルス性肝炎	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例(1)	後天性免疫不全症候群	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	7例	水痘(入院例)	4例
	破傷風	1例	百日咳	25例(1)
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	17例(7)		

()内は今週届出分、再掲